

術指導も必要ですが、やはり「どう考えるか」「どうしたらいいか」ということを考えさせるようにしたいものです。

(4) リーダーだけを呼んで、活動の指導をしていないか。

活動はリーダーだけでなく、フォロアーの役割があって始めてスムーズに動き出すものです。そこで、活動の指導については、全員が理解できるようにしたいものです。

(5) リーダー（シップ）が認められる場面を多く設定しているか。

活動を長続きさせるためには、やはり誉める・認めることを忘れないようにしたいものです。リーダーとしての役割を果たした子どもを、全体の場でしっかり認めることを行いましょう。また、このことはフォロアーに対しても同じことが言えます。

◆リーダーの役割とは◇◆◇

(1) 中学年

- * 仕事の手順や役割をみんなで話し合っ決めて決めることができる。
- * 問題点を見つけ、自分たちで解決しようとする進めることができる。
- * 反省を次の活動に生かせる。

(2) 高学年

- * 計画に無理がないか、十分に話し合いができる。
- * メンバーの持ち味などを生かした活動を考えることができる。
- * みんなが責任を果たせるように援助ができる。

◆リーダー指導の内容◇◆◇

☆ [活動初期] 係活動がスタートする時期

活動初期には、活動が軌道に乗るようにしていく必要があります。そこで、次の3つのことを指導したいと思います。

- ◇ 係活動と当番活動の違い
- ◇ メンバー召集や話し合いの仕方
- ◇ 活動状況発表の仕方（朝・帰りの会）

☆ [活動中期] 活動が停滞しがちな時期

活動が軌道に乗り、しばらくすると起るのが、この停滞期です。そういう時、子どもたちの意欲は下がり気味です。そこで、次の3つのことについて指導したいと思います。

- ◇ 認め合う場を作ること
- ◇ 学級のために活動を行っているという自覚
- ◇ 計画の見直し

☆ [活動後期] 活動が充実する時期

停滞期を乗り越え、活動が進んでくると、マンネリ化の状態が見えてきます。そういう時には、次の2つのことを指導します。

- ◇ 係相互のつながりを持たせる。

◇活動の成果を確かめあわせる。

2 特別活動 実践の課題～アンケートのまとめ その1

4年前、山口県内の特別活動の状況を知りたくて、県内小学校の特別活動主任宛にアンケートを実施しました。アンケート結果を集計してみて、多くの特別活動主任の先生方が、たくさん課題を感じておられることがわかりました。

その結果を数回に分けてお知らせしようと思います。まずは、各学校の実践上の課題です。

◇時間の確保に関する課題

- ・活動時間（委員会・クラブ・代表委員会・縦割り班活動・児童集会等）をどう確保していけばいいのか。
- ・行事を精選しようという流れがあって、その中で特別活動に使える時間の確保が困難である。
- ・学校や校区の特色を生かした集会を充実させたいが、各教科の時数確保の兼ね合いが難しい。

◇委員会活動についての課題

- ・児童数減少に伴う活動の内容や委員会の数の見直しや調整が難しい。
- ・委員会の常時活動の内容が子どもたちには負担になっている。
- ・過去から引き継がれている内容が形のための引き継ぎに終わっている。
- ・校務分掌の補佐的な仕事を中心に、子どもたちの主体的な活動を促すことができていない。
- ・子どもたちに、いかに創造的な活動内容を考えさせるかが課題。

◇集会活動についての課題

- ・集会活動から得ることのできるよさがなかなか身に付かないこと。
- ・子どもたちが意欲を持って活動する集会の仕組み方。
- ・集会活動が形骸化して、子どもによる子どものための集会となっていない。
- ・少人数での集会活動をどのように盛り上げるか。

◇代表委員会についての課題

- ・代表委員会の持ち方および話合いの充実のさせ方
- ・代表委員会で低学年の子どもたちの意見がなかなか吸い上がらないこと。
- ・代表委員会の議題が、月目標の反省ばかりで、他の議題が扱えない。
- ・代表委員会で、校内を見つめ改善していこうとする機運をどう高めていったらいいか。

◇クラブ活動についての課題

- ・活動内容に見合った時間数が確保しにくくなった。

- ・いかにして児童の創造的な自主性を出させるか。

それぞれの学校で、特別活動主任の先生方が苦勞されていることがわかります。読者の皆さんで、「この課題について、こういう解決方法がある」「うちの学校ではこういう取組みをしている」というものがありましたら、情報をお寄せください。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第49号は11月中旬ごろ発行予定です。

次号は、「係活動の発展」についてお送りする予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は186名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

11月といえば学級づくりが少し乱れてくる頃だと言われています。そんな時、学級づくりではどのようなことに気をつければいいのでしょうか。そこで、11月の学級づくりについて、情報交換できたらと思います。先生方が取り組んでおられる実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

4月頃 出会いの演出・新学期の学級経営

5月頃 連休明けの学級経営のポイント

6月頃 室内でできる簡単イベント

7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ

8月頃 子どもとのつながりを考える

9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み

10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて

11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり

12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり

1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす

2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====